

様式集

目 次

	ページ
FMS431-1 環境影響調査票	Y-1
FMS431-2 環境影響登録簿	Y-31
FMS431-3 大型機器導入・施設整備に関する事前環境影響評価表	Y-35
FMS431-4 調査対象本学関係者	Y-37
FMS431-5 間接影響調査票(新規業者)	Y-38
FMS431-6 間接影響調査票(継続業者)	Y-42
FMS432-1 法律・条例調査報告書	Y-45
FMS432-2 法規制マトリックス	Y-46
FMS433-1 実施報告書	Y-52
FMS442-1 教育実施報告書	Y-53
FMS442-2 内部監査員登録リスト	Y-54
FMS443-1 内部コミュニケーション記録書	Y-55
FMS443-2 外部コミュニケーション記録書	Y-56
FMS447-1 緊急事態テスト結果報告書	Y-57
FMS452-1 順守評価報告書	Y-58
FMS453-1 不適合事項是正及び予防報告書	Y-59
FMS455-1 内部監査計画書	Y-60
FMS455-2 内部監査スケジュール	Y-61
FMS455-3 内部監査チェックリスト	Y-62
FMS455-4 内部監査報告書	Y-63
FMS455-5 是正処置要求書・回答書	Y-64
FMS455-6 最高環境責任者向け内部監査報告書	Y-65
FMS460-1 学長による見直し	Y-66

平成 年 月 日

福井大学松岡地区

環境ISOユニット代表者，又はその代理者 殿

松岡地区環境保全等実施専門部会
部 会 長 日 下 幸 則

平成 年度 環境影響調査ならびにアンケート調査について(依頼)(案)

全ユニットを対象とした下記の項目について調査を実施しますので，各ユニット内で取り
まとめて頂き，平成 年 月 日()までに環境整備課までメールにてご回答下さい。

【調査項目について】

1. 環境影響に関する調査

昨年度の調査以降に変更や追加があったものについて調査しますので，昨年度の
調査報告書を参照し変更や追加について報告してください。

2. 環境に関するアンケート調査

「一般ゴミ」「水資源」「エネルギー」「環境をよくすること」の4項目に関するアンケー
ト調査します。WEBアンケートシステムにより回答してください。

【回答に際しての注意点】

1. 下記のURLをクリックし，全てについて回答してください。

<http://www11.fukui-med.ac.jp/ems/kankyoku.html>

2. 「環境に対して大きな影響を与えている」「過去に環境関連の苦情等があった」「環
境関連の法規制等適用を受けている」などの作業・実験等の記入を漏らさないようにし
て下さい。記入が漏れていますと，改善，その運用に支障が生じます。手順などを参考
にしてご回答下さい。

問い合わせ先：財務部 環境整備課 環境ISO担当(内線 2112・2111)
メールによる質問は，ems@med.u-fukui.ac.jp まで

【 手 順 】

1. 調査報告書(1)は、昨年度の調査報告内容について、変更や追加の有無を回答して下さい。
2. 変更や追加があった場合は、昨年度の調査報告書(別紙)に朱書きで訂正や追記して下さい。書ききれない場合は、調査報告書(2)、又は適宜、用紙にて回答して下さい。
3. 調査はユニット単位で行います。ユニット内で法規に関わる同種の作業室・実験室・保管室・貯蔵室がある場合は、まとめて(グルーピングして)記入して下さい。まとめることが困難な場合は、無理にまとめる必要はありません。
4. 複数のユニットにまたがる実験や複数のユニットで共同管理している実験室等は、ユニット間で相談の上、どちらかが代表して記入してください。その旨を記してください。
5. 調査すべき部屋等に漏れが無いが提出前に確認して下さい。漏れている場合は、ユニット代表者立ち合いの元で再調査することもあります。
6. 特殊な事情がある場合は、空欄にその事情を記入しておいてください。

【 記 入 要 領 】

1. ユニットの範囲を示した配置図および平面図(添付)を確認し対応させて記入してください。
2. 回答記入した方の名前を記入して下さい。
3. 学生・パート・アルバイト・派遣・常駐業者等による作業・実験等も含まれます。
4. 環境への影響を考える際は、ガイドラインを参考にして下さい。
注1) できるだけ客観的立場で考えて下さい。
注2) この調査は今後の環境保全への取り組み方針を決める資料となります。また、認証取得の際の資料ともなります。記入漏れがないようにお願いします。
注3) 作業・実験の過程で環境への影響を引き起こしている、又は引き起こすかもしれない^(※)工程・施設・設備・機器など該当する場合は、その工程・施設・設備・機器名とその状況を記入して下さい。
注4) ^(※)引き起こすかもしれないとは、潜在的な危険性をはらんでいるもので、施設・設備・機器の故障・操作ミス・誤作動、作業ミス・不注意等によるもの。
注5) 環境関連法規を参考資料で一覧しています。

【 ガイドライン 】	
環 境 へ の 影 響	環 境 に よ い こ と ／ よ く な い こ と
一 般 的 質 問 事 項	・教育・研究等の活動により発生する環境によいこと、よくないことを記入してください。
特 定 毒 物 ・ 毒 物 及 び 劇 物 の 使 用	・特定毒物を使用 ・容器に「毒物」「劇物」の表示がある薬品を使用 ・大学から管理指示がある物
高 圧 ガ ス の 使 用	・高圧ガスボンベ（凍結保存用液体窒素，液体ヘリウムなど，密閉容器に入っていないものは除く）
危 険 物 の 使 用	・第1類～第6，圧縮アセチレンガス，液体石油ガスなどの危険物を貯蔵又は取り扱う
動 物 の 飼 養	・実験動物を飼養している
遺 伝 子 組 み 換 え 実 験	・P2レベル以上の実験
人 体 未 固 定 試 料	・遺体，あるいは人体摘出組織。血液，体液など
微 生 物 増 殖	・実験用微生物を増殖
放 射 性 物 質 の 使 用	・ ^3H ， ^{14}C ，ウラン，トリウム等の使用
放 射 線 発 生 装 置 の 使 用	・サイクロトロン，リニアックの使用
エックス線装置の使用	・管電圧が10kV以上の装置
電 波 法	・高周波利用設備を使用
オートクレーブ	・オートクレーブを使用
大 気 汚 染	・揮発性の薬品を大気へ排出 ・有害物質を大気へ排出 ・有色のガス・煙を大気へ排出
水 質 汚 濁	・薬品・油・廃液・廃油・排水を排水口・洗い場・側溝・下水へ排出 ・薬品・油を使用した機器・器具の洗浄水（2回以下）を排水口・洗い場・側溝・下水へ排出
土 壌 汚 染	・薬品・油・廃液・廃油・洗浄水が土壌へ浸透
振 動	・窓ガラスがゆれるような振動を発生 ・室外の人の体がゆれていると感じがするような振動を発生 ・7.5Kw以上の能力をもつ電動機を有する装置
騒 音	・室外にも届くような騒音を発生 ・室外の人が耳鳴りを感じるような騒音を発生 ・7.5Kw以上の能力をもつ電動機を有する装置
悪 臭	・室外に臭うような不快な臭いを発生
地 球 温 暖 化	・温室効果ガス（二酸化炭素，メタン，一酸化二窒素等）を排出
オゾン層破壊	・フロン類，臭化メチル等を排出

環 境 影 響 調 査 回 答 用 紙【新規ユニット対象】(案)

ユニット名(領域・所属等)	
回 答 者 名	

※ ユニットで該当する作業室・実験室・保管室・貯蔵室・事務室等を全て調査してください。

0. 一般的質問事項

ユニットでの教育・研究活動で下記の各問に該当すると思われることを簡明にお答えください。

※この回答用紙は、法規制に該当する、しないに関わらず、各ユニットにおける環境問題として調査を行うものです。

質 問	回 答	部屋名／実験室名
大気(空気)を汚している又は汚しているかもしれない		
水を汚している又は汚しているかもしれない		
土壌を汚している又は汚しているかもしれない		
大きな音を出している又は出している音に誰か迷惑しているかもしれない		
大きな揺れを出している又は出している揺れに誰か迷惑しているかもしれない		
不快臭を出している又は出している臭いに誰か迷惑しているかもしれない		
温室効果ガスを出している		
オゾン層破壊物質を出している又は出しているかもしれない		

質 問	回 答	部屋名／実験室名
大気(空気)をキレイにする対策をとっている		
水をキレイにする対策をとっている		
土壌をキレイにする対策をとっている		
大きな音を出さない対策をとっている		
大きな揺れを出さない対策をとっている		
不快臭を出さない対策をとっている		
温室効果ガスを出さない対策をとっている		
オゾン層破壊物質を出さない対策をとっている		

1. 毒物及び劇物取締法

(1) 特定毒物、毒物及び劇物を使用しているまたは所有している。 あるいは使用する可能性がある。		は い ・ いいえ		
(特定毒物) 1. オクタメチルピロホスホルアミド 2. 四アルキル鉛 3. ジエチルパラニトロフェニルチオホスフェイト 4. ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフェイト 5. ジメチルー(ジエチルアミド-1-クロロクロトニル)-ホスフェイト 6. ジメチルパラニトロフェニルチオホスフェイト 7. テトラエチルピロホスフェイト 8. モノフルオール酢酸 9. モノフルオール酢酸アミド 10. 燐化アルミニウムとその分解促進剤				
(毒物及び劇物、その他) 毒物: 容器に「毒物」の表示のある薬品 劇物: 容器に「劇物」の表示がある薬品 その他: 1. 無機シアン化合物たる毒物を含有する液体状の物(1mg/ℓ以上) 2. 塩化水素、硝酸、硫酸、水酸化カリウム、水酸化ナトリウムを含有する液体状の物 (水で10倍に希釈したpHが2～12までの物を除く)				
(2) (1)で「はい」とお答え場合、下記の項目を記入してください。				
該当する室名	使用薬品名	数量(mg, ℓ等)	具体的な使用状況	作業及び実験内容
(3) この法令による届出や記録についてお答えください。				
法令による届出・記録の有無		あ り ・ な し		
法令による届出の名称 (全 て 記 入)				
(4) 特定毒物、毒物及び劇物に関連して以下の設問にお答えください。				
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等、人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当するを選択して下さい。又起きたもの全てについて、内容を詳しく記入して下さい。又その際、引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。 は い ・ いいえ			
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で、あなたの所でも起こる可能性があれば、全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。			
Q3	作業・実験について、今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。 は い ・ いいえ			
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。			
Q5	特定毒物・毒物及び劇物に関し、環境によいこと、よくないことを詳しく記入してください。			
	環境によいこと			
	環境によくないこと			

2. 高圧ガス保安法

(1)窒素、ヘリウム等の高圧ガスを実験で使用していますか。			はい ・ いいえ	
〈高圧ガス〉 常温の温度において圧力が1メガパスカル(10kg/cm²)以上となる圧縮ガス ①圧縮、液化その他の方法で処理することができるガスの容積が以下に定める値以上である設備を使用して高圧ガスの製造(容器に充てんすることを含む)をすること。 1. 第1種ガス(ヘリウム、ネオン、アルゴン、クリプトン、キセノン、ラドン、窒素、二酸化炭素、フルオロカーボン(可燃性のものを除く。))又は空気) :300m³ 2. その他 :100～300m³ ②高圧ガスを容器に充填していること。 高圧ガスを容器に充填する際は、次の容器に充填すること。 1. 刻印(容器・付属品検査合格(再検査合格を含む)の刻印等)がされたものであること 2. バルブがあること 3. 検査後、加工がされてないこと 4. その他				
(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。				
該当する室名	使用ガスの種類	容量(m ³ 等)	保管状況 (例:固定している・チェーンで止めているなど)	具体的な作業及び実験内容
(3)この法令による届出や記録についてお答えください。				
法令による届出・記録の有無		あり ・ なし		
法令による届出の名称 (全 て 記 入)				
(4)高圧ガスに関連して以下の設問にお答えください。				
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等、人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて、内容を詳しく記入して下さい。又その際、引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。			
	はい ・ いいえ			
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で、あなたの所でも起こる可能性があれば、全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。			
Q3	作業・実験について、今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。			
	はい ・ いいえ			
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。			
Q5	高圧ガスに関し、環境によいこと、よくないことを詳しく記入してください。			
	環境によいこと			
	環境によくないこと			

3. 消防法(永平寺町火災予防条例を含む)

(1)指定数量の1/5以上の危険物を貯蔵・取り扱っているか。又はその計画がある。		は い ・ いいえ		
〈指定数量〉				
	危険物名	指定数量		
第1類	酸化性固体:塩素酸塩類, 硝酸塩類, 過マンガン酸塩類, 重クロム酸塩類等	50kg~1000kg		
第2類	可燃性固体:硫化りん, 赤りん, 硫黄, 鉄粉, 金属粉, マグネシウム等	100kg~1,000kg		
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質:カリウム, ナトリウム, アルカリ金属, 有機金属化合物, 金属の水素化物, 黄燐, 金属のりん化合物	10kg~100kg		
第4類	特殊引火物(ジエチルエーテル, アセトアルデヒド, 酸化プロピレン, 二硫化炭素等)	50kg		
	第1石油類(ガソリン, ベンゼン, トルエン, アセトン, メチルエチルケトン等)	200~400kg		
	アルコール類(メチルアルコール, エチルアルコール, イソプロピルアルコール等)	400kg		
	第2石油類(灯油, 軽油, キシレン, 酢酸等)	1,000~2,000kg		
	第3石油類(重油, ニトロベンゼン, エチレングリコール, グリセリン等)	2,000~4,000kg		
	第4石油類(ギア油, シリンダー油, 潤滑油等)	6,000kg		
	動植物油類(アマニ油等)	10,000kg		
第5類	自己反応性物質:有機化酸化物, 硝酸エステル類, ニトロ化合物等	10kg~100kg		
第6類	過酸化水素, 硝酸等	300kg		
(2)圧縮アセチレンガス・液化石油ガスを貯蔵又は取り扱っている。		は い ・ いいえ		
(3)(1)又は(2)で「はい」とお答えの場合, 下記の項目を記入してください。				
該当する室名	使用危険物名	数量(kg, 箱)	具体的な使用状況	作業及び実験内容
(4)この法令による届出や記録についてお答えください。				
法令による届出・記録の有無		あり ・ なし		
法令による届出の名称 (全 て 記 入)				
(5)危険物の貯蔵および取扱いについて以下の設問にお答えください。				
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等, 人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて, 内容を詳しく記入して下さい。又その際, 引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。			
	は い ・ いいえ			
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で, あなたの所でも起こる可能性があれば, 全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。			
Q3	作業・実験について, 今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等はありませんでしたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。			
	は い ・ いいえ			
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。			
Q5	危険物の貯蔵および取扱いに関し, 環境によいこと, よくないことを詳しく記入してください。			
	環 境 に よ い こ と			
	環 境 に よ く な い こ と			

4. 資源の有効な利用の促進に関する法律

(1) パソコンを保有している。(個人の所有は除く)

はい ・ いいえ

(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。(全て記入)

[illegible]

5. 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)

(1) エアコン^(※)、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫を所有している又は購入の予定がある。
^(※) ウィンド形エアコンディショナー又は室内ユニットが壁掛け形若しくは床置き形であるセパレート形エアコンディショナーに限る。

はい ・ いいえ

(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。(全て記入)

[illegible]

6.特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律

(1)家庭用を除く(業務用)エアコン, 冷蔵庫, 冷凍機器を設置しているか又は設置しようとしている。

はい ・ いいえ

(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。

[illegible]

7. 動物実験について

(1) 生物資源部門から動物を持ち出し、実験を行っていますか。(飼育又は一晚程度のステイ含む)				は い ・ いいえ	
(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。					
該当する室名		種 類 / 匹数(年間総数)			
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
※ 種類(ラット, マウス, モルモット, ウサギ等)					
(3) 生物資源部門から持ち出した動物をユニット内で飼養していますか。(上記を上まわるもの)				は い ・ いいえ	
(4)(3)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。					
該当する室名		種 類 / 匹数(年間総数)			
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
※ 種類(ラット, マウス, モルモット, ウサギ等)					
(5) ユニット内で直接購入し動物実験を行っていますか。(飼育を含む)				は い ・ いいえ	
(6)(5)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。					
該当する室名		種 類 / 匹数(年間総数)			
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
※ 種類(ラット, マウス, モルモット, ウサギ等)					
(7) ユニット内で遺伝子組み換え動物を飼養していますか。				は い ・ いいえ	
(8)(7)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。					
該当する室名		種 類 / 匹数(年間総数)			
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
	種 類		匹数(年)		
※ 種類(ラット, マウス, モルモット, ウサギ等)					
(9) この実験に関わる法令で届出や記録についてお答えください。〈末尾参考資料参照〉					
法令による届出・記録の有無		あ り ・ な し			
法令による届出の名称 (全 て 記 入)					
(10) 動物実験について以下の設問にお答えください。					
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等, 人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて, 内容を詳しく記入して下さい。又その際, 引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。				
	は い ・ いいえ				
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で, あなたの所でも起こる可能性があれば, 全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。				
Q3	作業・実験について, 今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。				
	は い ・ いいえ				
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。				
Q5	動物実験に関し, 環境によいこと, よくないことを詳しく記入してください。				
	環 境 に よ い こ と				
	環 境 に よ く な い こ と				

8. 遺伝子組換え実験について

(1) 第二種使用等遺伝子組換え実験を行っていますか。		はい ・ いいえ
(2) (1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。		
該当する室名	具体的な使用状況	作業及び実験内容
(3) この実験に関わる法令で届出や記録についてお答えください。〈末尾参考資料参照〉		
法令による届出・記録の有無	あり ・ なし	
法令による届出の名称 (全 て 記 入)		
(4) 遺伝子組換え実験について以下の設問にお答えください。		
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等, 人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて, 内容を詳しく記入して下さい。又その際, 引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。	
	はい ・ いいえ	
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で, あなたの所でも起こる可能性があれば, 全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。	
Q3	作業・実験について, 今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。	
	はい ・ いいえ	
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。	
Q5	遺伝子組換え実験に関し, 環境によいこと, よくないことを詳しく記入してください。	
	環 境 に よ い こ と	
	環 境 に よ く な い こ と	

9. 人体未固定試料について

(1)人体未固定試料(体液も含む)を取り扱っていますか。		は い ・ いいえ
(2)(1)で「はい」とお答えのユニットで使用する試料には病原性微生物に感染しているものは含まれますか。		含まれる ・ 含まれない ・ 不 明
(3)(2)で「含まれる」「不明」とお答えの場合、その微生物はどのようなものであるかを記入してください。		
(4)試料採取の際に、適切なインフォームドコンセントをおこなって、記録を留めている。		は い ・ いいえ
(5)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。		
該当する室名	具体的な使用状況	作業及び実験内容
(6)この実験に関わる法令で届出や記録についてお答えください。		
法令による届出・記録の有無	あ り ・ な し	
法令による届出の名称 (全 て 記 入)		
(7)人体未固定試料について以下の設問にお答えください。		
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等、人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて、内容を詳しく記入して下さい。又その際、引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で、あなたの所でも起こる可能性があれば、全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。	
Q3	作業・実験について、今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。	
Q5	人体未固定試料に関し、環境によいこと、よくないことを詳しく記入してください。	
	環 境 に よ い こ と	
	環 境 に よ く な い こ と	

10. 微生物実験について

(1)組換え遺伝子実験以外で研究用微生物を増殖していますか。		は い ・ いいえ
(2)(1)で「はい」とお答えの場合、その感染体および感染対象物を記入してください。		
該当する室名	感 染 体 / 感染対象物	
	感 染 体	ウィルス・リケッチア・細菌・真菌・寄生虫・その他()
	感染対象物	細胞・動物・その他()
	感 染 体	ウィルス・リケッチア・細菌・真菌・寄生虫・その他()
	感染対象物	細胞・動物・その他()
	感 染 体	ウィルス・リケッチア・細菌・真菌・寄生虫・その他()
	感染対象物	細胞・動物・その他()
	感 染 体	ウィルス・リケッチア・細菌・真菌・寄生虫・その他()
	感染対象物	細胞・動物・その他()
	感 染 体	ウィルス・リケッチア・細菌・真菌・寄生虫・その他()
	感染対象物	細胞・動物・その他()
(3)この実験に関わる法令で届出や記録についてお答えください。		
法令による届出・記録の有無	あ り ・ な し	
法令による届出の名称 (全 て 記 入)		
(4)微生物実験について以下の設問にお答えください。		
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等、人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて、内容を詳しく記入して下さい。又その際、引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で、あなたの所でも起こる可能性があれば、全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。	
Q3	作業・実験について、今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等ありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。	
Q5	微生物実験に関し、環境によいこと、よくないことを詳しく記入してください。	
	環 境 に よ い こ と	
	環 境 に よ く な い こ と	

11. 放射線障害の予防について

(1)今年度は、調査済み。

12. 核燃料物質等の取扱いについて

(1)今年度は、調査済み。

13. 電波法

(1)高周波利用機器は使用していますか。(電子レンジ、電磁誘導加熱式調理器は除く)		は い ・ いいえ	
(2)(1)で「はい」とお答えの場合、下記の項目を記入してください。			
該当する室名	使用機器名	具体的な使用状況	台 数
(3)この法令による届出や記録についてお答えください。			
法令による届出・記録の有無		あ り ・ な し	
法令による届出の名称 (全 て 記 入)			
(4)高周波利用機器について以下の設問にお答えください。			
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等、人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて、内容を詳しく記入して下さい。又その際、引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。		
	は い ・ いいえ		
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で、あなたの所でも起こる可能性があれば、全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。		
Q3	作業・実験について、今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等はありませんでしたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。		
	は い ・ いいえ		
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。		
Q5	高周波利用機器に関し、環境によいこと、よくないことを詳しく記入してください。		
	環 境 に よ い こ と		
	環 境 に よ く な い こ と		

14. 労働安全衛生法

(1) 別途調査の予定

15. 以上の他に、関連する法規がありましたら記入してください。

＜末尾参考資料参照＞

※ 多数の場合は、以降の欄をコピーし、法令毎に分けて記入してください。

法	令	
該	当	室 名
施設・設備・使用機器名 ・使用薬品名 (該当室,全て記入)		
具体的な使用状況		
作業及び実験内容		
・ この法令による届出や記録についてお答えください。		
法令による届出・記録の有無	あり ・ なし	
法令による届出の名称 (全 て 記 入)		
・ この法令に関する以下の設問にお答えください。		
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等, 人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて, 内容を詳しく記入して下さい。又その際, 引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で, あなたの所でも起こる可能性があれば, 全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。	
Q3	作業・実験について, 今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。	
	は い ・ いいえ	
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハッと!」と思ったことがあればご記入ください。	
Q5	この法令に関し, 環境によいこと, よくないことを詳しく記入してください。	
	環 境 に よ い こ と	
	環 境 に よ く な い こ と	

平成 年度 環境影響調査票 (案)

ユニット名	
回答者名	
調査範囲に含まれる作業室・実験室・保管室・貯蔵室名 (部屋番号あるいは通称名)	
作業・実験内容	

◆調査1 「一般質問」 ※通常業務の範囲内であれば除きます。

※ 選択するときは□をマウスでクリックしてください (□⇒☒)

大気	
1. 大気(空気)を汚している又は汚しているかもしれない。	☐ はい ☐ いいえ
水	
2. 水を汚している又は汚しているかもしれない。	☐ はい ☐ いいえ
土壌	
3. 土壌を汚している又は汚しているかもしれない。	☐ はい ☐ いいえ
音	
4. 大きな音を出している、又は第三者から音に迷惑している等の苦情があった。	☐ はい ☐ いいえ
5. 上記で「はい」の場合、大きな音を出さない対策をとっている。	☐ はい ☐ いいえ
揺れ	
6. 大きな揺れを出している、又は第三者から揺れに迷惑している等の苦情があった。	☐ はい ☐ いいえ
7. 上記で「はい」の場合、大きな揺れを出さない対策をとっている。	☐ はい ☐ いいえ
におい	
8. 不快臭を出している、又は第三者から臭いに迷惑している等の苦情があった。	☐ はい ☐ いいえ
9. 上記で「はい」の場合、不快臭を出さない対策をとっている。	☐ はい ☐ いいえ
気温	
10. 温室効果ガスを出している。	☐ はい ☐ いいえ
11. 上記で「はい」の場合、温室効果ガスを出さない対策をとっている。	☐ はい ☐ いいえ
オゾン層	
12. オゾン層破壊物質を出している、又は出している	☐ はい

かもしれない。	☐ はい ☐ いいえ
13. 上記で「はい」の場合、オゾン層破壊物質を出さない対策をとっている。	☐ はい ☐ いいえ

◆調査2 「環境関連法規制」

毒物及び劇物取締法	
1. 特定毒物、毒物及び劇物を使用している、または所有している、あるいは今年度中に使用を開始する可能性がある。	☐ はい ☐ いいえ
2. 上記で「はい」の場合、学内のルールに基づいて記録を残している。	☐ はい ☐ いいえ
高圧ガス保安法 ※高圧ガス ①圧縮ガスは1.0MPa以上の圧力で存在 ②液化ガスは0.2MPa以上の圧力で存在（通常のCO ₂ インキュベーターで使用している物はこれに該当します。）	
3. 炭酸ガス、窒素、ヘリウム等の高圧ガスを実験で使用している。	☐ はい ☐ いいえ
消防法（永平寺町火災予防条例を含む）	
4. 指定数量の1／5以上の危険物を貯蔵・取り扱っている、または今年度中にその計画がある。	☐ はい ☐ いいえ
5. 圧縮アセチレンガス・液化石油ガスを貯蔵または取り扱っている。	☐ はい ☐ いいえ
6. 上記で「はい」の場合、学内のルールに基づいて記録を残している。	☐ はい ☐ いいえ
資源の有効な利用の促進に関する法律	
7. パソコンを保有している。（個人の所有は除く）	☐ はい ☐ いいえ
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	
8. エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫を所有している、または今年度中に購入の予定がある。	☐ はい ☐ いいえ
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律	
9. 家庭用を除く（業務用）エアコン、冷蔵庫、冷凍機器を設置している、または今年度中に設置しようとしている。	☐ はい ☐ いいえ
動物実験について	
10. 生物資源部門から動物を持ち出し、実験を行っている。（飼育または一晩程度のステイ含む）	☐ はい ☐ いいえ
11. 生物資源部門から持ち出した動物をユニット内で飼養している。	☐ はい ☐ いいえ
12. ユニット内で遺伝子組み換え動物を飼養している。	☐ はい ☐ いいえ

13. 上記で「はい」の場合、学内のルールに基づいて記録を残している。	☐ はい ☐ いいえ
遺伝子組み換え実験について	
14. 第二種使用等遺伝子組み換え実験を行っている。	☐ はい ☐ いいえ
15. 上記で「はい」の場合、学内のルールに基づいて届出、あるいは承認を受けている。	☐ はい ☐ いいえ
人体未固定試料について	
16. 人体未固定試料（体液も含む）を取り扱っている。	☐ はい ☐ いいえ
17. 上記で「はい」の場合、使用の試料には病原性微生物に感染しているものが含まれている。	☐ はい ☐ いいえ
18. 上記で「はい」の場合、法律や学内のルールに基づいて取り扱っている。	☐ はい ☐ いいえ
微生物実験について	
19. 組み換え遺伝子実験以外で研究用微生物を増殖している。	☐ はい ☐ いいえ
20. 上記で「はい」の場合、学内のルールに基づいて届出をしている。	☐ はい ☐ いいえ
電波法	
21. 高周波利用機器を使用している。（電子レンジ、電磁誘導加熱式調理器は除く）	☐ はい ☐ いいえ
22. 以上の他に、貴ユニットで関連する環境法規制がありましたら記入してください。	

ご協力ありがとうございました。記入忘れ・漏れ等がなければ確認し、ご提出下さい。

法 令		
該 当 室 名		
施設・設備・使用機器名 ・使用薬品名 (該当室,全て記入)		
具体的な使用状況		
作業及び実験内容		
・ この法令による届出や記録についてお答えください。		
法令による届出・記録の有無	あ り ・ な し	
法 令 に よ る 届 出 の 名 称 (全 て 記 入)		
・ この法令に関する以下の設問にお答えください。		
Q1	過去に人災(不注意や操作ミス等, 人為的ミス)・天災(地震・雷等)による災難や災害が発生したことがありますか。該当する方を選択して下さい。又起きたもの全てについて, 内容を詳しく記入して下さい。又その際, 引き起こされたと考えられる環境への影響も記入して下さい。	
	は い ・ い い え	
Q2	同じような工程・施設・設備・機器を持っている他の大学・民間の企業等で起きた災難・災害で, あなたの所でも起こる可能性があれば, 全て記入して下さい。又その際考えられる環境への影響についてもご記入下さい。	
Q3	作業・実験について, 今まで学外からの環境に関する苦情・要望・指導等がありましたか。該当する方を選択して下さい。又あったもの全ての内容と原因を詳しく記入して下さい。	
	は い ・ い い え	
Q4	作業・実験について「ヒヤリ!」「ハツと!」と思ったことがあればご記入ください。	
Q5	この法令に関し, 環境によいこと, よくないことを詳しく記入してください。	
	環 境 に よ い こ と	
	環 境 に よ く な い こ と	

【 環境関連法規制 参考資料 】

環 境 関 連 法	
1	地球温暖化対策の推進に関する法律
2	大気汚染防止法
3	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
4	悪臭防止法
5	水質汚濁防止法
6	水道法
7	下水道法
8	浄化槽法
9	騒音規制法
10	振動規制法
11	土壤汚染対策法
12	農薬取締法
13	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
14	再生資源の利用の促進に関する法律(リサイクル法)
15	容器包装の係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
16	食品循環資源の再利用などの促進に関する法律(食品リサイクル法)
17	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)
18	使用済み自動車の再資源化に関する法律
19	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
20	国等による環境物品等の調達等に関する法律(グリーン購入法)
21	電気事業法
22	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)
23	新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法
24	エネルギー等の使用の合理化及び再生資源の利用に関する事業活動の促進に関する特別措置法
25	石油代替エネルギーの開発及び導入の促進に関する法律
26	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
27	労働安全衛生法 労働安全衛生法施行令 労働安全衛生規則 有機溶剤中毒予防規則 鉛中毒予防規則 四アルキル鉛中毒予防規則 特定化学物質等障害予防規則 高気圧作業安全衛生規則 電離放射線障害予防規則 酸素欠乏症等防止規則 粉じん障害防止規則 事務所衛生基準規則
28	作業環境測定法
29	じん肺法
30	学校保健法
31	毒物及び劇物取締法
32	薬事法

33	麻薬法
34	消防法 危険物の規制に関する政令 永平寺町火災予防条例
35	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
36	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)
37	ダイオキシン類対策特別措置法
38	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 (PCB 法)
39	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律
40	高圧ガス保安法 高圧ガス保安法施行令 一般高圧ガス保安規則 容器保安規則
41	電波法 電波法施行規則
42	放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律 (放射線障害防止法)
43	核燃料物質、核原料物質及び原子炉等の規制に関する法律 (原子炉等規制法) 国際規制物資の使用等に関する規則
44	遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律
45	動物の愛護および管理に関する法律 実験動物の飼養及び保管等に関する基準 感染症予防法による輸入動物の届出制度
46	健康増進法
47	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律
48	工場立地法
49	工業用水法
50	福井県公害防止条例
51	五領川公共下水道事務組合下水道条例
52	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 (公害防止整備法)
53	建築物用地下水の採取の規制に関する法律 (ビル用水法)
54	環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律 (環境配慮促進法)

【一般ゴミに関するアンケート】(案)

※ ゴミの分別・ゴミの減量		
Q1	一般ゴミを可燃・不燃・カン・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装の6分別して排出していますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q2-1	ユニット毎に古紙資源を「使用済みコピー用紙」「新聞紙」「雑誌」「広告・ちらし」「ミックス紙(シュレッダー屑を含む)」別にまとめて多目的倉庫へ排出していますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q2-2	紙バック(切り開き乾燥させたもの)・段ボール類は古紙資源として多目的倉庫へ排出していますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q3	「使用済みコピー用紙」「広告・ちらし」「新聞紙」などを一般ゴミとして排出したことがありますか。	☐ ない ☐ たまにある
Q4	一般ゴミの減量に努めていますか。	☐ はい ☐ いいえ
ゴミの減量のために取り組まれていることや、ゴミの減量のための提案等があれば、お答え下さい。		
※ 紙		
Q5	両面コピー機や両面印刷機を導入していますか。	☐ はい ☐ 近々更新予定 ☐ いいえ
Q6	片面だけが印刷された用紙は、専用ボックス等に集め再使用するというプログラムを実践できていますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q7	学生や職員に配布する印刷物や、文献の複写等は両面印刷したものを用いていますか。	☐ 両面印刷したものを用いている ☐ 図のある資料等に限り片面印刷したものを 用いている ☐ 片面印刷したものを用いている
Q8	会議用資料はどのような形で配布していますか。	☐ 事前にメール等で配布、会議中はプロジェクタ等で提示しており、極力使用しない ☐ 紙に印刷されたものを事前あるいはその場で配布している ☐ その他
「その他」と回答された方は具体的内容をお答え下さい。		
Q9	紙の使用量を前年度以下にするというプログラムに協力できていますか。	☐ 紙の使用量を減らせている ☐ 現状の使用量を維持している ☐ 協力できていない
「協力できていない」と回答された方で、紙の使用量が増加した要因を特定できる場合はそれを記述下さい。		
※ 資源のリサイクル		
Q10	ゴミの廃棄方法についてお尋ねします。現在実施中であればチェックして下さい。	☐ フィルムは、一般ゴミとは別に廃棄している ☐ 使用済み電池をリサイクルしている ☐ 使用済みのトナーカートリッジは業者に引き取ってもらい、リサイクルしている
Q11	不要になった学内備品のリサイクルシステムを利用しましたか。	☐ はい ☐ いいえ

Q12	空き缶・ペットボトル等の指定外場所での投棄(ポイ捨て)の現状についてお尋ねします。	☐ ポイ捨てされる量は減ってきていると思う。 ☐ あまり改善されていない。
	「改善されていない」と回答された方で、ポイ捨てを減らすために何か方策があれば提案して下さい。	

※ タバコ		
Q13	灰皿が部屋の中にありますか。	☐ ない ☐ ある
	「ある」と回答された方は次の問いに答えてください。	☐ 吸っている人がいる ☐ お客様のため ☐ 置いているだけ
Q14	松岡キャンパス(建物内)は喫煙できる場所が1カ所だけに限られていることを知っていますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q15	松岡キャンパスは敷地内全面禁煙であることを知っていますか。	☐ はい ☐ いいえ
Q16	松岡キャンパスでは歩きタバコ・ポイ捨てをしてはいけないことが教職員・学生に十分周知されていると思いますか。	☐ はい ☐ いいえ
	「いいえ」と答えられた方は、周知のためにどのような方策を行えばよいと考えますか。具体的な方策を提案下さい。	

以上です。ご協力ありがとうございました。

【水資源に関するアンケート】(案)

Q1	水資源節約に関する、貴ユニットの使用機器の取り組みについてお答えください。	☐ 昨年度から引き続き継続している(取り組み内容に、変更なし) → Q6 の設問へお進みください。 ☐ 昨年度から引き続き継続している(取り組み内容に、変更有り) → 以後のアンケートにお進みください。 ☐ 上記以外である → 以後のアンケートにお進みください。
Q2	実験室でビーカー、フラスコ、メスシリンダー等の洗浄についてお答えください。	☐ 昨年度から引き続き、洗浄している ☐ 新たに、洗浄するようになった ☐ 洗浄しない、又は、しなくなった
	「昨年度から引き続き、洗浄している」の場合(ユニット全体で)以下についてお答えください。	
	昨年度と比べ一回あたりの洗浄個数	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	洗浄一回あたりの平均所要時間* (*すすぎのため水を流す時間)	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	一週あたりの洗浄頻度	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	「新たに、洗浄するようになった」の場合(ユニット全体で)以下についてお答えください。	
	一回あたりの洗浄個数 (昨年度と比較して)	☐ 減少した ☐ 同等 ☐ 増加した ☐ 50 個以下 ☐ 50 個以上
	洗浄一回あたりの平均所要時間* (*すすぎのため水を流す時間)	☐ 10 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 6 時間以下 ☐ 6 時間以上
	一週あたりの洗浄頻度	☐ 1 回以下 ☐ 2 回 ☐ 3 回 ☐ 4 回 ☐ 5 回以上
	実験室での水流ポンプの使用についてお答えください。	☐ 昨年度より継続して、使用している ☐ 新たに、使用を始めた ☐ 使用していない、又は、使用をやめた
Q3	「昨年度より継続して、使用している」の場合、以下についてお答えください。	
	一回あたりの使用時間 (*最もよく使う使用時間)	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	一週あたりの使用頻度	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	連続(最長)の使用時間	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	「新たに、使用を始めた」の場合、以下についてお答えください。	
	一回あたりの使用時間* (*最もよく使う使用時間)	☐ 5 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 3 時間以上
	一週あたりの使用頻度	☐ 1 回以下 ☐ 2 回 ☐ 3 回 ☐ 4 回 ☐ 5 回以上
	連続(最長)の使用時間	☐ 5 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 3 時間以上
Q4	実験室でのピペット洗浄器の使用についてお答えください。	☐ 昨年度より引き続き、使用している ☐ 新たに、使用を始めた ☐ 使用していない、又は使用をやめた
	「昨年度より継続して、使用している」の場合、以下についてお答えください。	
	一回あたりの使用時間* (*最もよく使う使用時間)	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	一週あたりの使用頻度	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	連続(最長)の使用時間	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	「新たに、使用を始めた」の場合、以下についてお答えください。	
	超音波洗浄機能付きの台数	☐ 1 台 ☐ 2 台 ☐ 3 台 ☐ 4 台 ☐ 5 台以上
	超音波洗浄機能なしの台数	☐ 1 台 ☐ 2 台 ☐ 3 台 ☐ 4 台 ☐ 5 台以上
	洗浄一回あたりの平均所要時間	☐ 15 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 6 時間以下 ☐ 12 時間以下 ☐ 12 時間以上
	一週あたりの洗浄頻度	☐ 1 回以下 ☐ 2 回 ☐ 3 回 ☐ 4 回 ☐ 5 回以上

	その他の水を大口使用すると考えられる機器についてお答えください。	☐ 昨年度より継続して、使用している ☐ 新たに、使用を始めた ☐ ない、又は、使用をやめた
	「昨年度より継続して、使用している」の場合、以下についてお答えください。	
	一回あたりの使用時間	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	連続(最長)の使用時間	☐ 減少 ☐ 同等 ☐ 増加
	「新たに、使用を始めた」の場合、以下についてお答えください。	
	その機器の名称をお答えください。	
	一回あたりの使用時間*(*最もよく使う使用時間)	☐ 5 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 3 時間以上 ☐ 6 時間以上
	一週あたりの使用頻度	☐ 1 回以下 ☐ 2 回 ☐ 3 回 ☐ 4 回 ☐ 5 回以上
	連続(最長)の使用時間	☐ 5 分以下 ☐ 30 分以下 ☐ 1 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 3 時間以下 ☐ 6 時間以上
Q7	貴ユニット(講座)は、実験機器洗浄手順書に加え、ユニット独自の水資源プログラムの作成についてお答えください。	☐ 作成している ☐ 必要に応じて作成する予定だが、現時点では未定である ☐ 作成していない
	「作成している」場合、どのようなプログラムを実践していますか。	
	水資源保護のため、貴ユニットでとくに取り組んでおられることがあれば、具体的にお教えください	
Q8	水資源保護に繋がるアイデアがあれば、ご意見をお書きください	

以上です。ご協力ありがとうございました。

【エネルギーに関するアンケート】(案)

Q1	休憩時(支障のない場合)、不在時は消灯していますか。	☐ 消灯している ☐ 消灯していない
	「消灯していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 消灯するのが手間だから ☐ 多人数が使用する部屋なので、消灯しにくい ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
	人感センサーにより点灯消灯すると良いと思う部屋があれば具体的に記入してください。	
Q2	会議室、倉庫、書庫等は使用時以外には消灯していますか。	☐ 消灯している ☐ 消灯していない
	「消灯していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 消灯するのが手間だから ☐ 多人数が使用する部屋なので、消灯しにくい ☐ 業務に支障となるから ☐ その他
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
	「その他」と回答の場合、内容をお答えください。	
Q3	晴天時、部屋の窓側にある照明を消していますか。	☐ 消している ☐ 消していない
	「消していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 消灯するのが手間だから ☐ 多人数が使用する部屋なので、消灯しにくい ☐ 窓側の照明だけを消すスイッチがないから ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q4	照明器具を1年に1回程度掃除をしていますか。	☐ している ☐ していない
	「していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 掃除する時間がない ☐ 掃除が手間だから ☐ 掃除を外注する場合、お金を負担しても良い ☐ 掃除の仕方が分からない
Q5	全体照明だけでは明るさが不足する場合、局所照明を併用していますか。	☐ 該当なし ☐ 併用している ☐ 併用していない
	「併用していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 局所照明(電気スタンド等)がないから ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q6	冷暖房時の室温は、夏28℃ 冬20℃を目途に過度にならないようにしていますか。	☐ 夏28℃ 冬20℃に温度設定をしている。 ☐ していない ☐ その他
	「温度設定をしている」の回答の場合、お答えください。(複数回答可)	☐ エアコンのリモコンで設定している ☐ スwitchのオンとオフで設定をしている
	「していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 寒くても1枚着込むのがいやだから ☐ 暑くても薄着になるのがいやだから ☐ 室温の設定方法が分からない ☐ 設定する装置はあるが、夏28℃以上 冬20℃以下にしていない ☐ 中央方式なので温度設定ができない
	「その他」と回答の場合、内容を記入してください。	

※次ページに続く

Q7	窓からの入熱・出熱を遮断するためにブラインド、カーテン等を利用していますか。	☐ 利用している ☐ 利用していない
	「利用していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 多人数が使用する部屋なので、明るく開放的な環境としたいから ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q8	使用していない部屋及び時間帯は、冷暖房を停止していますか。	☐ 停止している ☐ 停止していない
	「停止していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 常に快適な室温にしておきたいから ☐ 多人数が使用する部屋なので、冷暖房を止めにくい ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q9	ファンコイルユニットやエアコンのフィルターの掃除をしていますか。	☐ 該当なし ☐ している ☐ していない
	「していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 掃除する時間がない ☐ 掃除が手間だから ☐ 掃除を外注する場合、お金を負担しても良い ☐ 掃除の仕方が分からない
Q10	エアコン室外機の周りに物や雑草がなく風通しが良いですか。	☐ 該当なし ☐ 風通しが良い ☐ 風通しが良くない
	「良くない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 整理、除草する時間がない ☐ 整理、除草が手間だから ☐ 整理、除草を外注する場合、お金を負担しても良い
Q11	エアコンを新規購入する場合は効率(COP 値が大きいほど良い)の良い機器を選定していますか。	☐ 該当なし ☐ 選定している ☐ 選定していない
	「選定していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 選定する知識がない ☐ 選定は業者等に依頼しているから ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q12	実験機器・事務機器等の不要時、不使用時は電源を切っていますか。	☐ 電源を切っている ☐ 電源を切っていない
	「切っていない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 切るのが手間だから ☐ 待機状態が長いと自動で切れるから ☐ 業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q13	パソコンの待機時、省電力モードに設定していますか。	☐ 該当なし ☐ 設定している ☐ 設定していない
Q14	待機時消費電力(使っていない時でも消費される電力)を減らすため、使用していない時はコンセントを抜いていますか又はスイッチ付コンセント等で電源を切っていますか。	☐ 抜いている又は電源の元から切っている ☐ 抜いていない又は電源の元から切っていない
	「抜いていない又は電源の元から切っていない」とお答えの方は以下にお答えください。(複数回答可)	☐ 電源の元から切るのが手間だから ☐ 待機時消費電力のことを知らなかった ☐ 業務に支障となるから ☐ その他
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
	「その他」と回答の場合、内容を記入してください。	

Q15	生活用の冷蔵庫(設定温度の配慮, 入れすぎに注意), 電気ポット(つけっぱなしにしない), 掃除機(片付けてから掃除機を掛ける)を効率的に使っていますか。(ユニット内での担当の方の回答)	☐ 常に心がけて, 使っている ☐ 時々, 意識して使っている ☐ 知ってはいるが, やっていない ☐ やっても無駄だと思う
Q16	実験機器・事務機器等を購入する場合は省エネルギーの機器を選定していますか。	☐ 該当なし ☐ 選定している ☐ 選定していない
	「選定していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ 選定する知識がない ☐ 選定は業者等に依頼しているから ☐ 選定すると業務に支障となるから
	「業務に支障となる」と回答の方は、その業務内容をお答えください。	
Q17	寒い時期以外には暖房便座のスイッチを切っていますか。	☐ 該当なし ☐ 切っている ☐ 切っていない ☐ その他
	「切っていない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ スwitchを切るのが手間だから ☐ スwitchを切る方法が分からない ☐ 誰かがスwitchを切るだろうと考えているから
	「その他」と回答の場合、内容を記入してください。	
Q18	エレベータの3ステップアップ3ステップダウンを励行していますか。(エレベータを使用しないと出来ない業務又は健康上の理由等を除く)	☐ 励行している ☐ 励行していない
Q19	グリーン購入をしていますか。	☐ している ☐ していない
	「していない」と回答の方はお答えください。(複数回答可)	☐ グリーン購入に該当する機器・文具について知識がない ☐ グリーン購入に該当する機器・文具を調べるのが手間だから ☐ グリーン購入に関心がない ☐ グリーン購入を知っていれば購入していた 以上です。ご協力ありがとうございました。

【環境をよくすることのアンケート】(案)

Q1	学内で環境によいことをすることは必要である。	☐ はい	☐ いいえ
Q2	学内の屋内環境がきれいであってほしい。	☐ はい	☐ いいえ
Q3	学内の屋内環境は、自分たちできれいにするべきである。	☐ はい	☐ いいえ
Q4	ゴミが学内に落ちていたら、拾ってゴミ箱へ捨てている。	☐ はい	☐ いいえ
Q5	ゴミを捨てる上で、決められた場所、日時、方法をきちんと守っている。	☐ はい	☐ いいえ
Q6	決められた喫煙場所、灰の捨て方をきちんと守っている。	☐ はい	☐ いいえ
Q7	歩きタバコ、ポイ捨てはするべきではない。	☐ はい	☐ いいえ
Q8	歩きタバコ、ポイ捨てを注意している。	☐ はい	☐ いいえ
Q9	ゴミ拾いだけでなく、草刈り(かまを使用)も環境美化の作業に加えた方がよい。	☐ はい	☐ いいえ
Q10	学内の憩いの場、ベンチスペース、中庭等はある方がよい。	☐ はい	☐ いいえ
Q11	教職員による定期的な草刈りを実施していることを知っている。	☐ はい	☐ いいえ
Q12	屋外環境を活用したイベント(歩け歩け大会、エココンテスト、エコサークル、貸し出し花壇など)がもっとあるとよい。	☐ はい	☐ いいえ
Q13	屋外環境のイベントに、隣接するグリーンセンター、九頭竜川などの活用をした方がよい。	☐ はい	☐ いいえ
Q14	遊歩道があった方がよい。	☐ はい	☐ いいえ
Q15	ゴミ拾いや花壇の花の植え込みなど、学内環境美化運動が実施されていることを知っている。	☐ はい	☐ いいえ
Q16	ゴミ拾いや花壇の花の植え込みなど、学内環境美化運動に参加したことがある。	☐ はい	☐ いいえ
Q17	上記(Q15 or Q16)のいずれかに「はい」と回答の方、学内環境美化活動への参加についてお答えください。(複数回答可)	☐ 業務中でも都合をつけて参加したい。 ☐ 業務中は参加できない(と思う)。 ☐ 業務時間以外でも参加してもよい。 ☐ 積極的には参加したくない。 ☐ その他 []	
Q18	多くの方に学内の環境活動へ参加してもらうためには、どのような工夫が必要だと思いますか。なるべく具体的に記述してください。		

以上です。ご協力ありがとうございました。

環境影響登録簿

○:有益, ●:有害

法規制の番号は法規制マトリックスの番号である

区分	環境側面 ((☆):直接, (★):間接)	補足	環境影響												場面		法規制	著しい	
			大気	水	土壌	音	コレ	におい	地盤	資源	廃棄物	気温	オゾン層	人体	景観	通常・非通常			事故・緊急
全体	【電力, 燃料】																		
	エネルギーの消費(☆)(★)		●							●	●	●				●		1,21, 22	◎
	【紙】																		
	紙の消費(☆)	普通紙, トイレトペーパー								●						●			◎
	【水】																		
	水の使用(☆)	キャンパス全体で使用, ムダがある								●						●			◎
	地下水の汲み上げ(☆)(★)	融雪に利用							●							●		35	
	【排水】																		
	生活排水の排出(☆)(★)	主にトイレ, 手洗い場, 厨房からの排出		●												●		4,5,6	◎
	事業系排水の排出(☆)(★)	実験・医療系		●												●			◎
	【車】																		
	車による移動(☆)(★)	公用車, 通勤・通学車両	●							●		●				●			
	路上駐車(☆)(★)														●	●			
	【その他資源】																		
	設備・機器・備品・事務用品の購入(☆)	事務・教育・実験系								●						●			
	食べ物, 飲み物の購入(☆)									●						●			
	その他の購入(☆)									●						●			
	グリーン購入(☆)	グリーン購入法の適合品を購入(省資源, 省エネ機器など)								○						○		17	
	【ゴミ】																		
	一般廃棄物の排出(☆)(★)	ゴミ, タバコ, 空き缶, 空き瓶, 空き袋, 使用済み用紙, 段ボール, 使用済み物品, 廃家電等									●					●		8,10, 11	◎
	ゴミ箱の設置, ゴミの分別(☆)(★)										○				○	○			
	ゴミ, タバコ, 空き缶のポイ捨て(☆)(★)														●	●			
	ゴミ拾い(☆)														○	○			
	産業廃棄物の排出(☆)(★)	実験・医療系, 廃自動車, 業務用エアコン・冷凍庫など									●					●		10,13, 14,15, 16	
	特別管理産業廃棄物の排出(☆)(★)	実験・医療系									●			●		●		8	
	【喫煙】																		
	分煙(☆)		●													●		36	◎
	受動喫煙(☆)	喫煙マナー	●					●						○		○			◎
	【施設】																		
	ホルムアルデヒド(☆)	建物から放出												●		●			
	緑地・植栽整備(☆)(★)(◎)	草刈を含む	○									○			○	○			◎
	農薬散布(★)			●										●		●		23	
	管理不十分(☆)														●	●			

区分	環境側面 ((☆):直接, (★):間接)	補足	環境影響													場面		法規制	著しい
			大気	水	土壌	音	コレ	におい	地盤	資源	廃棄物	気温	オゾン層	人体	景観	通常・非通常	事故・緊急		
【ボイラー】																			
ボイラーの運転(☆)(★)	電力(→全体活動ー電力へ), 重油(→全体活動ー燃料へ)	●			●	●					●				●		1,2		
	火災	●														●	25	◎	
	運転ミス・地震などによる爆発	●		●			●									●		◎	
良質重油の使用(☆)	A重油1種1号	○													○				
防振加工(☆)	防振架台					○									○				
【発電機】																			
発電機の運転(☆)(★)	電力(→全体活動ー電力へ), 重油(→全体活動ー燃料へ)	●			●	●					●				●		22		
	火災	●														●	25	◎	
	運転ミス・地震などによる爆発	●		●			●									●		◎	
良質重油の使用(☆)	A重油1種1号	○													○				
防振加工(☆)	防振架台					○									○				
【冷温水発生機】																			
冷温水発生機の運転(☆)(★)	電力(→全体活動ー電力へ), 重油(→全体活動ー燃料へ)	●			●	●					●				●		1,2		
	火災	●														●	25	◎	
	運転ミス・地震などによる爆発	●		●			●									●		◎	
	夜間稼動で深夜電力の利用	○							○	○	○				○				
良質重油の使用(☆)	A重油1種1号	○													○				
防振加工(☆)	防振架台					○									○				
【吸収式冷凍機】																			
冷凍機の運転(☆)	電力(→全体活動ー電力へ)				●	●									●				
防振加工(☆)	防振架台					○									○				
【排水処理施設】																			
排水処理(☆)	PH調整に硫酸, 苛性ソーダを 使用, 電力(→全体活動ー電力へ)		○												○		4,5,6		
	汚泥								●						●		8		
	地震による施設破損で排水漏洩	●	●													●		◎	
【特殊排水処理施設】																			
法医解剖排水処理(☆)	電力(→全体活動ー電力へ)		○												○				
動物実験排水処理(☆)	電力(→全体活動ー電力へ)		○												○		4,6		
病理解剖排水滅菌処理(★)	電力(→全体活動ー電力へ)		○												○				
【空調機】																			
空調機の運転	取り付け・取外しミスでフロン類 の漏洩(☆)/電力(→全体活動ー電力へ)											●				●		◎	
【空調機・圧縮機・ポンプ類】																			
空調機・圧縮機・ポンプ類の 運転(☆)	電力(→全体活動ー電力へ)				●	●									●		18,19		
防振加工(☆)	防振架台					○									○				

区分	環境側面 ((☆):直接, (★):間接)	補足	環境影響													場面		法規制	著しい
			大気	水	土壌	音	コレ	におい	地盤	資源	廃棄物	気温	オゾン層	人体	景観	通常・非通常	事故・緊急		
	【地下タンク】																		
	危険物の貯蔵	地震による施設破損で重油漏洩(5基)			●												●	25	◎
個別	【教育・研究】																		
	環境教育(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		34	
	先端医療の研究(☆)													○	○				
	教育・研究材料の購入(☆)	薬品, ガス, 燃料, 動物, 細菌, 微生物, 植物など								●						●			
	教育・実験(☆)	設備・機械運転, 器具使用, ガス使用, 動物実験など	●			●	●	●				●	●	●		●			
	有害化学薬品の使用(☆)		●	●			●			●	●	●	●		●		8,20	◎	
	薬品等の節約(☆)	薬品・ガス使用, 動物など	○	○			○		○		○	○	○		○				
	排気施設(☆)	ドラフト, フィルタリング, 安全キャビネットなど	○												○				
	音対策(☆)	ドアを閉める, 消音器など				○									○				
	スクラパー, ドラフトチャンバー(☆)	洗浄水(→事業系排水の排出へ)	○		●				○					○	○				
								○						○	○				
	代替品の使用(☆)	より臭いの少ない薬品へ						○							○				
	脱臭装置・機器(☆)	脱臭フィルター, ペパフィルター, 安全キャビネット						○							○				
	定期清掃(☆)	動物飼育室など						○							○				
	換気(☆)													○	○				
	2次洗浄液までの回収(☆)	廃液の分別		○											○				
														●	●				
	廃棄物の分別(☆)										○				○				
	薬品の漏洩(☆)	実験による生成物(化合物)を含む, 誤って排水口に流す, 移動中を含む		●	●										●		●		◎
	廃液の漏洩(☆)			●	●										●		●		◎
	燃料の漏洩(☆)			●	●										●		●		◎
	爆発事故(☆)	ボンベなど	●												●		●		◎
	放射性物質の使用(☆)														●		●		
	放射線の漏洩(☆)														●		●		◎
	超音波, 電磁波, 高周波などの使用(☆)					●									●		●	32	
超音波対策(☆)	超音波洗浄機を日曜に使用する				○									○	○				
人体未固定資料の使用														●	●				
【屋内貯蔵所】																			
危険物の貯蔵	地震による施設破損で油類漏洩(5箇所, 保管方法はサービスタンク・一斗缶)			●													●	25	◎

区分	環境側面 ((☆):直接, (★):間接)	補足	環境影響													場面		法規制	著しい
			大気	水	土壌	音	ユレ	におい	地盤	資源	廃棄物	気温	オゾン層	人体	景観	通常・非通常	事故・緊急		
【浄化槽】																			
	汚水の浄化(☆)			○											○		5		
	浄化槽の利用(☆)	電力(→全体活動ー電力へ)					●								●				
		地震による浄化槽破損で汚水漏洩			●											●			
【QOL・QOW】																			
	何でも相談できる雰囲気作り(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	環境の話題が日常飛び交う職場(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	笑顔でアイサツできる人間関係(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	早期退社(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	自己責任の学内システム(☆)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
【厨房】																			
	厨房排水の排出(☆)	油, 洗剤混じり		●											●		4.6		
	自動洗浄機(☆)			○					○						○				
					●										●				
	洗浄機の運転管理(☆)	ピーク時を避け, 利用者の少ない時間帯に実施			○										○				
	側溝清掃(☆)	汚水・汚泥排出		○			○								○		8		
										●					●				
【油水分離槽】																			
	排水処理(☆)	厨房, 中央機械室		○											○		4.6		
		地震による施設破損			●											●			◎

大型機器導入・施設整備に関する事前環境評価について

1. 目 的

福井大学環境方針も基本方針第1項において、本学における(松岡キャンパス)における教育・研究を中心としたすべての活動から発生する地球環境に対する負荷の低減に努めることとしている。この方針に基づき大型プロジェクト等による大型機器導入、施設整備の際に、それらが引き起こす、あるいは引き起こす可能性がある環境への影響を事前に評価することにより、環境保全と省エネルギーの重要性を喚起し、その低減に寄与することを目的とする。

ただし、この事前環境評価により教育研究の進展を阻害しないものとする。

2. 次のことを目安として作成し、提出して頂く。

- 1) 施設整備: 予定価格で 50,000千円
- 2) 大型機器: 予定価格で 16,000千円

3. 事前評価に関する事項等

- 1) 規制に関する事項
- 2) 資源エネルギーの使用量(使用時)に関する事項
- 3) 使用する薬品等に関する事項
- 4) 予想される廃棄物の種類と排気量に関する事項
- 5) その他地球環境に配慮する事項

4. 提出者、提出先

提出者: 大型機器導入等を計画している学科等及び担当者

提出先: 松岡地区環境保全等実施専門部会

5. 実施開始時期について : 平成17年 9月 1日

大型機器導入・施設整備に関する事前環境影響評価表

提出日	年 月 日			
建物名称		機器名 工事名		
学科名 担当者名		設置棟 室名		
予定日	着手日又は納入日： 年 月 日		完成又は使用開始日： 年 月 日	
設置概要				
事前環境 影響評価 に関する 記述	関連法規(該当法規に○を付す)			
	☐ 大気汚染防止法			
	☐ 騒音規制法			
	☐ 振動規制法			
	☐ 悪臭防止法			
	☐ 下水道法・五領川公共下水道事務組合下水道条例			
	☐ 消防法			
	☐ 高圧ガス保安法			
	☐ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律			
	☐ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律			
	☐ 毒物及び劇物取締法			
	☐ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	☐ 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)			
	☐ エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)			
	☐ その他(法律名：)			
	資源の使用量 (使用時)	電力使用量		Kw/h
		ガスの使用量		m ³ /h
		重油・灯油使用量		ℓ/h
		予想される使用時間		時間・日
		予想される騒音		db
予想される廃棄物・排出物	一般廃棄物		トン/年	
	産業廃棄物	種類	トン/年	
	廃液		ℓ/年	
その他	その他、地球環境に配慮する事項			
専門部会 による意見等	特記事項			

影響力を及ぼすことが期待できる本学関係者

業務	企業名等	環境影響	関係部署	対処法
建築・土木	請負業者	汚染水排出，騒音，振動，産業廃棄物の増加	環境整備課	標準仕様書・打合会での注意喚起
重油納入	請負業者	土壌汚染(注油時の油漏れ)	財務課 環境整備課	契約書で注意喚起
灯油納入	請負業者	土壌汚染(注油時の油漏れ)	財務課	
液体窒素納入	請負業者	資源の消費(注入時の大気への放出)	財務課	契約書で注意喚起
酸素ガス・二酸化炭素ガスなどのガスボンベ納入	請負業者	大気汚染(ガスボンベの不適正設置)	財務課	契約書で注意喚起
一般廃棄物搬出	永平寺町	土壌汚染(車両搭載時のゴミの拡散)	財務課 環境整備課	契約書で注意喚起
医療廃棄物搬出	請負業者	土壌汚染(積み込み時の飛散)	総務管理課 環境整備課	契約書で注意喚起
ホルマリン搬出	請負業者	土壌汚染(積み込み時の漏れ)	財務課 環境整備課	契約書で注意喚起
濃厚廃液搬出	請負業者	土壌汚染(積み込み時の漏れ)	財務課 環境整備課	契約書で注意喚起
学内清掃	請負業者	清掃洗浄に伴う水質汚濁	財務課	契約書で注意喚起
植栽管理	請負業者	土壌汚染(農薬の使用)	環境整備課	契約書で注意喚起
ボイラー運転	請負業者	操作ミスによる大気汚染	環境整備課	マニュアルによる運転
排水処理施設運転	請負業者	排水の浄化，不快臭，資源の消費，廃棄物の発生，水質汚濁・土壌汚染(事故・緊急時)	環境整備課	契約書で注意喚起

本 学 関 係 企 業 殿

松岡地区環境保全等実施専門部会
部 会 長 日 下 幸 則

環境影響の調査について（依頼）（案）

福井大学松岡地区（附属病院は除く）では、ISO14001の認証を取得し環境保全の取り組みを行っております。

各業者の方には、施設維持保全及び備品納入等を通じ、本学の教育・研究等に日頃御協力を頂いております。それらの業務は、本学の環境と密接な関係があり、環境側面（環境に良いこと、悪いこと、危険なこと等）を明確にし、その中から重点的・優先的に改善を要するものを選び出し、改善協力を依頼することになっています。

そこで、各業者の方に別紙の環境影響調査表をお配りしますので、平成 年 月 日（金）までに環境整備課までご回答下さい。

また、不明な点や疑問・質問は下記までお問い合わせ下さい。

財務部環境整備課 環境ISO担当 0776-61-8634（内線・2112）

メールによる質問は、ems@med.u-fukui.ac.jp まで

環境への影響	ガイ ド ラ イ ン
大気汚染	・揮発性の薬品を大気へ排出 ・有害物質を大気へ排出 ・有色のガス・煙を大気へ排出
水質汚濁	・薬品・油・廃液・廃油・排水を排水口・洗い場・側溝・下水へ排出 ・薬品・油を使用した機器・器具の洗浄水（2回以下）を排水口・洗い場・側溝・下水へ排出
土壌汚染	・薬品・油・廃液・廃油・洗浄水が土壌へ浸透
振動	・窓ガラスがゆれるような振動を発生 ・室外の人が体がゆれていると感じがするような振動を発生 ・7.5Kw以上の能力をもつ電動機を有する装置
騒音	・室外にも届くような騒音を発生 ・室外の人が耳鳴りを感じるような騒音を発生 ・7.5Kw以上の能力をもつ電動機を有する装置
悪臭	・室外に臭うような不快な臭いを発生
地球温暖化	・温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等）を排出
オゾン層破壊	・フロン類、臭化メチル等を排出

○ミスによる環境影響の例

・汚染水排出、騒音、振動、産業廃棄物の増加・土壌汚染（注油時の油漏れ）・資源の消費（注時の大気への放出）・大気汚染（ガスボンベの不適正設置）・土壌汚染（積み込み時の漏れ）・清掃洗浄に伴う水質汚濁・土壌汚染（農薬の使用）・排水の浄化、不快臭、資源の消費、廃棄物の発生、水質汚濁・土壌汚染（事故・緊急時）

環 境 影 響 調 査 票

御社は、業務に伴いゴミ排出、騒音、振動、汚水、大気汚染などの環境に影響を与える作業、又は、影響を与えるかもしれない作業を行っています。例えば清掃業務であれば水質汚染、また配送業務であれば自動車による大気汚染や騒音を発生させます。

一方で、業者や消費者の責務として容器包装を分別・リサイクルすることが法律により義務付けられています。それらを踏まえ、以下の質問にお答えください。(該当項目に○印を記入する)

回 答 日	平成 年 月 日		
御 社 名			回答者役職・氏名
			回 答 者 連 絡 先
本学での主な業務内容			
Q1. ゴミ（廃棄物）について			
(1) 業務により発生したゴミは、持ち帰っていますか	a. 持ち帰っている b. 持ち帰っていない		
(2) (1)で「持ち帰っていない」と回答した方のみお答えください	a. これからは持ち帰る b. これからも持ち帰らない 【理由： _____】		
(3) (1)で「持ち帰っている」と回答した方のみお答えください	a. 処理を市町村に依頼 b. 処理を産廃業者に依頼 c. その他【 _____】		
Q2. 容器包装（ダンボール、発砲スチロールなど）について			
(1) 納品した商品の容器包装は、持ち帰っていますか	a. 持ち帰っている b. 指示された場合のみ持ち帰っている c. 持ち帰っていない		
(2) (1)で「持ち帰っていない」と回答した方のみお答えください	a. これからは持ち帰る b. これからは指示された場合のみ持ち帰る c. これからも持ち帰らない 【理由： _____】		
(3) (1)で「持ち帰っている」又は「指示された場合のみ持ち帰っている」と回答した方のみお答えください	a. 持ち帰りリサイクルしている b. ゴミとして処分 c. その他【 _____】		
Q3. 自動車の使用について			
(1) 構内で1分以上停車場合は、エンジンを切っていますか	a. はい b. いいえ		
(2) (1)で「いいえ」と回答した方のみお答えください	a. 業務に支障があるから 【業務内容： _____】 b. 車のエアコンが切れるから c. 面倒だから d. その他【理由： _____】		
(3) 車は、駐車場にとめていますか（作業のためやむなく道路に停車する車両を除く）	a. はい b. いいえ		
(4) (3)で「いいえ」と回答した方のみお答えください	a. 業務に支障があるから 【業務内容： _____】 b. 面倒だから c. その他【理由： _____】		
Q4. 騒音について			
(1) 騒音を発生する作業はありますか	a. ある b. ない		

【FMS431-6】
平成 年 月 日

本学関係者 各位

福井大学松岡地区環境保全等実施専門部会

環境保全への取り組みのお願い(要請)(案)

平素から本学の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、本学は本学の活動から発生する地域への環境負荷の低減を目指しています。主に下記のような環境負荷が発生していると思われます。これらを低減するために、貴社におかれましても本学の環境保全活動にご協力下さいますようお願いいたします。また、本学の環境及びその保全活動に関しまして、ご意見がありましたら裏面へご記入下さい。

提出期限 平成 年 月 日()

【本学が特定した環境に影響を与えるもの】…別紙資料参照

【本学での事業活動について、特に下記の点に配慮してください】

※廃棄物の排出について

・業務により発生したゴミ(廃棄物)、容器包装(ダンボール等)は持ち帰るようにしてください。

※自動車の使用について

・構内でのアイドリングストップにご協力ください。

・指定された駐車場を利用してください。

※地球資源の消費について

・電力、水の使用量削減にご協力ください。

※汚染水の排出について

・汚染された水を排出する時は適正な処理を行い排出するようにしてください。

上記の環境を良くするための活動に賛同し、協力します。

平成 年 月 日

御社名: 担当氏名:

※本様式を提出し、1部コピー保管してください。

【問い合わせ先・提出先】

財務部環境整備課 環境ISO担当
0776-61-8634(内線 2112)
メールによる質問は ems@med.u-fukui.ac.jp まで

本学の環境及びその保全活動に関しましてご意見がありましたら、ご記入下さい。

《 別 紙 》

※本学が特定した著しく環境に影響を与えるもの

電力の消費
紙の消費
燃料の消費
水の使用
生活排水の排出
事業系排水の排出
一般廃棄物の排出
分煙
受動喫煙
緑地・植栽整備
ボイラーの運転・火災・爆発
発電機の運転・火災・爆発
冷温水発生機の運転・火災・爆発
実験排水の処理・漏洩
空調機の運転・フロン漏洩
地下タンクの危険物の貯蔵
有害化学薬品の使用
薬品の漏洩
実験廃液の漏洩
重油注入時の漏洩
ポンプの爆発事故
放射線の漏洩
焼却施設の運転・火災・爆発
屋内の危険物の貯蔵・油類の漏洩
厨房等の排水処理・油水の漏洩

※本学が設定した目的・目標

目 的	目 標
総エネルギー使用量の削減(電気・重油)	前年度比1%以上の削減
紙使用量の削減	前年度使用量以下に削減
水道水使用量の削減	前年度使用量以下に削減
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量(附属病院を除く)を基準年度(平成19年度)以下とする
学内環境美化	指定外場所へのゴミ投棄量をゼロに近づける タバコのポイ捨てゼロを目指す
受動喫煙を防止する	分煙を徹底する
緑に対する関心を高め、学習環境や療養環境の環境整備	植栽を管理する
	植栽面積を増やすことを検討する
	花・緑に関心を持ち、楽しむボランティア活動を支援する
	花壇面積を増やすことを検討する
水質汚濁の防止	排水基準の遵守
産業廃棄物排出に関する法律順守	有害化学薬品廃液の完全回収

法律・条例調査報告書

報 告 日： 平成 年 月 日		調 査 者：	
調査対象：			
調査結果：			
調査結果に基づくマニュアル更新：		更新者：	
更新の必要 : 有り 無し		更新日：	
更新内容			
松岡地区総括環境 責任者の確認		確認日	

Y-46

No	区分	規制名称	学内規程等	No	側面	人体解剖学	組織細胞形態学	分子生理学	腫瘍病理学	分子病理学	ゲノム科学・微生物学	免疫学・寄生虫学	分子遺伝学	分子生体情報学	薬理学	高次脳機能	環境保健学	法医学・人類遺伝学	内科学1	内科学2	内科学3	小児科学	精神科学	外科学1	外科学2	整形外科学	麻酔・蘇生学	産婦人科学	泌尿器科学	皮膚科学	脳脊髄神経外科学	眼科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	歯科口腔外科	放射線医学	救急医学	地域医療推進講座	看護学1	看護学2	看護学3	看護学4	看護学5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12	廃棄物系	食品循環資源の再利用などの促進に関する法律(食品リサイクル法)		①	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
13		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律		①	産業廃棄物の排出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
14		使用済み自動車の再資源化に関する法律		①	産業廃棄物の排出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
15		特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律		①	産業廃棄物の排出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				②	産業廃棄物の排出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
16		資源の利用の促進に関する法律(リサイクル法)		①	産業廃棄物の排出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
17		国等による環境物品等の調達等に関する法律(グリーン購入法)		①	設備, 機器, 備品, 事務用品の購入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
18	感覚系	騒音規制法		①	空気圧縮機, 送風機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			②	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
19		振動規制法		①	圧縮機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				②	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
20		悪臭防止法		①	薬品の使用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
21	エネルギー系	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	福井大学松岡地区エネルギー管理標準	①	エネルギーの消費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				②	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				③	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
22	エネルギー系	電気事業法	国立大学法人福井大学自家用電気工作物保安規程	①	その他施設・整備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
23		農薬取締法		①	農薬散布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
24	薬品・危険物系	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)		①	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				②	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				③	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				④	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

No	区分	規制名称	学内規程等	No	側面	人体解剖学	組織細胞形態学	分子生理学	統合生理学	腫瘍病理学	分子病理学	ゲノム科学・微生物学	免疫学・寄生虫学	分子遺伝学	分子生体情報学	薬理学	高次脳機能	環境保健学	法医学・人類遺伝学	内科学1	内科学2	内科学3	小児科学	精神学	外科学1	外科学2	整形外科学	麻酔・蘇生学	産婦人科学	泌尿器科学	皮膚科学	脳脊髄神経外科学	眼科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	歯科口腔外科	放射線医学	救急医学	地域医療推進講座	教養準備教育	看護学科1	看護学科2	看護学科3	看護学科4	看護学科5							
27		特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)		①	焼却施設の運転																																														
28	その他	公害防止整備法		①	—																																														
29		工場立地法		①	—																																														
30		ビル用水法		①	—																																														
31		工業用水法		①	—																																														
32		電波法		①	—																																														
33		環境配慮促進法		②	—																																														
34		環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律		①	側面の特定できず																																														
35		福井県公害防止条例		①	—																																														
					②	—																																													
36	健康増進法		③	地下水の汲み上げ																																															
37	環境配慮契約法		①	分煙, 受動喫煙																																															

法規制マトリックス(つづき)

No	区分	規制名称	学内規程等	No	側面	松岡キャンパス総務室	人事労務課	財務部財務課	財務部施設企画課	財務部環境整備課	松岡キャンパス学務室	学務部学術情報課	病院部総務管理課	病院部経営企画課	総合情報基盤センター	バイオ実験機器部門	生物資源部門	放射性同位元素実験部門	高エネルギー医学研究センター	子どものこころの発達研究センター	看護部事務室	生活協同組合	オリックス中央機械室	勝木書店
1	地球環境	地球温暖化対策推進法		①	ボイラーの運転、発電機の運転、冷温水発生器の運転 エネルギーの消費																			
2	大気系	大気汚染防止法		①	ボイラーの運転、発電機の運転、冷温水発生器の運転																			
				②	—																			
				③	—																			
3		ダイオキシン類対策特別措置法		①	焼却施設																			
4	水・土系	水質汚濁防止法	国立大学法人福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程	①	危険物の貯蔵、排水処理																			
				②	事業系排水の排出、スクラバー、排水処理、法医剖検廃水処理、病理剖検排水処理																			
5		浄化槽法		①	汚水の浄化																			
6		下水道法、五領川公共下水道事務組合下水道条例	国立大学法人福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程	①	事業系排水の排出、生活廃水の排出																			
				②	事業系排水の排出、スクラバー、排水処理、法医剖検廃水処理、病理剖検排水処理																			
7		土壌汚染対策法		①	—																			
				②	一般廃棄物の排出																			
8	廃棄物系	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	国立大学法人福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程	③	産業廃棄物の排出																			
				④	特別管理産業廃棄物の排出																			
				⑤	特別管理産業廃棄物の排出																			
9		ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB法)		①	—																			
10		特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	国立大学法人福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程	①	一般廃棄物の排出																			
11		容器包装の係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律		①	一般廃棄物の排出																			
12		食品循環資源の再利用などの促進に関する法律(食品リサイクル法)		①	—																			

No	区分	規制名称	学内規程等	No	側面	松岡キャンパス総務室	人事労務課	財務部財務課	財務部施設企画課	財務部環境整備課	松岡キャンパス学務室	学務部学術情報課	病院部総務管理課	病院部経営企画課	総合情報基盤センター	バイオ実験機器部門	生物資源部門	放射性同位元素実験部門	高エネルギー医学研究センター	子どものこころの発達研究センター	看護部事務室	生活協同組合	オリックス(中央機械室)	勝木書店
13		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律		①	産業廃棄物の排出																			
14		使用済み自動車の再資源化に関する法律		①	産業廃棄物の排出																			
15		特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保などに関する法律		①	産業廃棄物の排出																			
				②	産業廃棄物の排出																			
16		資源の利用の促進に関する法律(リサイクル法)		①	産業廃棄物の排出																			
17		国等による環境物品等の調達等に関する法律(グリーン購入法)		①	設備、機器、備品、事務用品の購入																			
18	感覚系	騒音規制法		①	空気圧縮機、送風機																			
				②	—																			
19		振動規制法		①	圧縮機																			
20		悪臭防止法		①	薬品の使用																			
21	エネルギー系	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	福井大学松岡地区エネルギー管理標準	①	エネルギーの消費																			
				②	—																			
				③	—																			
22		電気事業法	国立大学法人福井大学自家用電気工作物保安規程	①	その他施設・整備																			
23		農薬取締法		①	農薬散布																			
24	薬品・危険物ガス系	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)		①	—																			
				②	—																			
				③	—																			
				④	—																			
25		消防法	国立大学法人福井大学防火管理規程	①	施設																			
				②	危険物の貯蔵																			
				③	危険物の貯蔵																			
26		高圧ガス保安法		①	—																			
				②	—																			
				③	教育・研究材料の購入																			
				④	—																			
27		特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)		①	焼却施設の運転																			

No	区分	規制名称	学内規程等	No	側面	松岡キャンパス総務室	人事労務課	財務部財務課	財務部施設企画課	財務部環境整備課	松岡キャンパス学務室	学務部学術情報課	病院部総務管理課	病院部経営企画課	総合情報基盤センター	バイオ実験機器部門	生物資源部門	放射性同位元素実験部門	高エネルギー医学研究センター	子どものこころの発達研究センター	看護部事務室	生活協同組合	オリックス(中央機械室)	勝木書店
28	その他	公害防止整備法		①	—																			
29		工場立地法		①	—																			
30		ビル用水法		①	—																			
31		工業用水法		①	—																			
32		電波法		①	—																			
33		環境配慮促進法		②	—																			
34		環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律		①	側面の特定できず																			
35		福井県公害防止条例		①	—																			
36		健康増進法		③	地下水の汲み上げ																			
37		環境配慮契約法		①	分煙、受動喫煙																			

実 施 報 告 書

実 施 項 目	報 告 者
報告日：平成 年 月 日	
実施内容：(参考となる資料を添付し，説明に代えることができる)	
環境保全等実施専門部会の評価	
松岡地区総括環境責任者 による確認	

教育実施報告書

確 認	作 成
松 岡 地 区 総 括 環 境 責 任 者	研修実施責任者

		作 成 日	平 成 年 月 日
研 修 名		研修実施責任者	
実 施 日 時	平成 年 月 日 : ~ :	場 所	
対 象 者 (参 加 者)			
実 施 方 法			
内 容			
研修実施責任者 による力量評価 (ユニット全体)	評 価 項 目 (◎理解している, ○ほぼ理解している, △不十分)		評 価
	環境マネジメントシステム要求事項の適合範囲の理解		
	環境方針の理解		
	法規制の理解		
	著しい環境側面の理解		
	目的・目標の理解		
	実施計画の理解		
	手順書の理解		
研修実施責任者 評 価	各教職員の役割と責任の理解		
研修実施責任者 評 価			

※終了証, 免許がある場合, そのコピーを添付すること

※研修実施責任者とは, マニュアル(P.M-48)を参照

平成 年度 内部監査員登録リスト

(平成 年 月 日現在)

No.	氏 名	所 属 ユ ニ ッ ト	役 職 名	取 得 資 格	内部監査経験 (回)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

内部コミュニケーション記録書

確 認
松 岡 地 区 総 括 環 境 責 任 者

		作 成 日	平 成 年 月 日
情報等の題名		作 成 者	
受 付 日	平 成 年 月 日	情報等提供者	
情報等の内容			
処 置 内 容			
処 置 実 施 日			
松岡地区総括 環境責任者の コメント			

外部コミュニケーション記録書

確 認
松 岡 地 区 総 括 環 境 責 任 者

		作 成 日	平 成 年 月 日
情報等の題名		作 成 者	
受 付 日	平 成 年 月 日	情報等提供者	
情報等の内容			
処 置 内 容			
処 置 実 施 日			
松岡地区総括 環境責任者の コメント			

※学外からの連絡者への説明文書を添付すること

緊急事態テスト結果報告書

確 認
松 岡 地 区 総 括 環 境 責 任 者

作 成 日	平 成 年 月 日	作 成 者	
実 施 日	平 成 年 月 日	実 施 責 任 者	
想 定 し た 緊 急 事 態		使用した手順書	
参 加 者		場 所	
テ ス ト 概 要			
評 価			
実施責任者の コ メ ン ト			
松岡地区総括 環境責任者の コメント			

順守評価報告書

評価日	評価者	法的及びその他の 要求事項	評価項目	評価方法	評価結果

不適合事項是正及び予防報告書

確 認
松 岡 地 区
総 括 環 境 責 任 者

作 成 日	平 成 年 月 日	作 成 者	
不適合事項の 概 要		発 生 源	
不適合事項の 詳 細 内 容			
不適合を引き 起こした原因			
是正処置内容			
確 認 / コ メ ン ト			
処 置 実 施 日			
処置実施者の コ メ ン ト			

平成 年度 内部監査計画書

作 成 者	承 認
松 岡 地 区 内 部 監 査 責 任 者	学 長

--

平成 年度 内部監査スケジュール

監査日時	被監査ユニット	被監査ユニット責任者	内部監査内容
平成 年 月 日 : ~ :			
平成 年 月 日 : ~ :			
平成 年 月 日 : ~ :			

以上の通り報告します。

チーム(班): 班

監査チームリーダー名: _____

チェックリスト及び内部監査結果の概要【一般用】

一般的事項

質問しなかった項目については、傍線を引く。 監査結果:○良い点, × 甚大な不適合, △軽微な不適合, □観察, 該当なしの場合無記入

No.	規格要求事項	確 認 事 項	確認事項・発見事項の内容	監査の結果
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

平成 年度 内部監査報告書

チーム(班): 班

内部監査員

リーダー氏名:

氏名:

監査日:平成 年 月 日

氏名:

時 間: 時 分 ~ 時 分

監 査 対 象 ユ ニ ッ ト 名:

監査対象ユニット対応者名:

良い点	
観察事項	
軽微な不適合	
甚大な不適合	

記入欄が不足する場合は、別紙に記入し添付してください

是正処置要求書・回答書

要 求 書

No. _____

宛先(部門名):	要求年月日:
発信:	回答期限:
件名:	監査員 (主任)氏名
	氏名
	氏名
規格要項事項: (軽微 ・ 甚大) な不適合	
不適合事項:	被監査側対応者確認
	氏名
	氏名

回 答 書

年月日	被監査側部門長確認
回答者	氏名
原因:	年月日
	コメント
是正処置内容:	
実施予定年月日:	

フォローアップ(効果確認)・所見

実施開始年月日:	監査員氏名
実施結果:	
	年月日

最高環境責任者向け内部監査報告書

確 認	作 成
学 長	内部監査責任者

報 告 事 項	内 容
内部監査日程	
内部監査の対象 ユニット	
内部監査結果の 概 要	
内部監査責任者 総 合 所 見	

学長による見直し

		日 付	平 成	年	月	日
総 評						
今後の活動への期待						

環 境 方 針	
目 的 ・ 目 標	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の そ の 他 の 要 素	